

くさの としあき
草野 利明

環境省 福島地方環境事務所 環境再生課 市町村支援室 室長補佐

昭和31年（1956）、いわき市出身。
元自衛官。福島駐屯地業務隊長を最後に定年退職。2011年4月より2年半、
福島市の防災専門官を務める。2013年9月より環境省 福島地方環境事務所に
勤務し、市町村が行う除染事業をサポートする。

陸上自衛官として福島駐屯地に勤務していた私は、震災発生その日、
定年を3週間後に控えていたのです。人生の道しるべは思わぬ方向に、
翌4月には福島市初の防災専門官になっていました。
手始めは除染の実施計画を立てること。

陸上自衛隊では除染の訓練や放射線防護について勉強していたので役に立ちました。
当時、「除染」という言葉は知られていませんでしたね。

その頃、除染を知る防災専門官は他の市町村にいなかったので、
早急に除染実施計画と除染マニュアルを作成、市のホームページにアップし、
他の市町村にも除染を知ってもらうことにしました。

除染についての住民説明会は200回以上開催。真剣な眼差しで私の話を聞く
お母さんたちの姿を見て、「ここで暮らす人の不安を少しでも軽減し、
安心して暮らせる福島県に早く戻したい」と決意を強くしたものです。
現在は福島市での除染の経験やノウハウを生かし、環境省の一員として
福島県内外の市町村の除染事業のお手伝いをしています。

この10年の間に感じたことは、経験したことのない苦難を乗り越えた皆さんの
“地域力の向上”です。これからも放射能不安を抱える人に寄り添うこと、
これが私のライフワークだと思っています。



除染の現場で放射線量を確認する